

学会ニュースNo.92 トピックス

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ・2008年度(第63回)総会・研究発表大会のご案内 | ・地理写真展作品の募集 |
| ・2008年度立正地理学会評議員会のお知らせ | ・第103回臨地研究会(富山)報告 |
| ・今年度卒業予定の学生会員の皆様へ | ・会費納入のお願い |

会 告

○2008年度(第63回)総会・研究発表大会のご案内

2008年度(第63回)総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時:2008年6月7日(土)9:20より
2. 会場:立正大学熊谷校舎6号館(6101、6102教室)
(当日、校内に案内を掲示いたします)
3. 総会委任状について
総会委任状は次号の学会ニュースに同封します。
4. 昼食
学生食堂が営業しています。
5. 懇親会
 - 1)会場:立正大学熊谷校舎学生食堂(ステラ)
 - 2)会費:一般4,000円、学生2,000円
 - 3)時間:17:00~19:00
6. 発表申込について
 - ・発表希望者は、3頁の発表申込用紙に所定事項を記入の上、2008年4月16日(水)までに集会委員会宛に送付して下さい。
 - ・メールでも受け付けております。申込用紙と同内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。送付先アドレス:geosoc@ris.ac.jp
 - ・発表の形式は、口頭発表とポスター発表です。このほかに地理写真があります。いずれかを選択して下さい。
 - ・口頭発表は発表時間15分、質疑応答5分の合計20分です。
 - ・発表要旨集は作成しません。発表者は必要に応じて発表資料を用意して下さい。
 - ・スライドやOHPの利用をご希望の方は集会委員会までご相談下さい。
 - ・パソコンと液晶プロジェクターは当学会で用意します。プレゼンテーションソフトはWindows版PowerPoint2003です。Windowsで読み込めるフォーマットでUSBフラッシュ

メモリーに保存して、当日会場へご持参下さい。Mac をご使用の場合は予めご連絡願います。

- ・研究発表者は、研究発表要旨を必ずご提出下さい。研究発表要旨は『地域研究』に掲載いたします。『地域研究』の執筆要項にしたがってご執筆の上、大会当日に編集委員会までご提出下さい。

7. 研究発表大会プログラム・会場案内について

研究発表大会プログラム・会場案内については、次号学会ニュース(2008年5月発送予定)、ならびに学会ホームページ(<http://www.ris.ac.jp/geosoc/>)に掲載いたします。

8. 展示について

例年、地理関係出版社の出版案内や図書販売がおこなわれております。個人向けの展示スペースも確保しておりますので、地図等の展示を希望される方は、集会委員会までご照会下さい。

○地理写真展作品の募集

今年も立正地理学会総会・研究発表大会と同時に、地理写真の展示を開催いたします。会員諸氏が自ら撮影し、地域の特徴をよくとらえていると思われる写真の出展をお願いいたします。

出展者は2008年4月16日(水)までに、次ページ(3頁)の地理写真申込用紙に所定事項を記入の上、集会委員会宛に送付して下さい。メールでも受け付けております。申込用紙と同内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。送付先アドレス: geosoc@ris.ac.jp

作品は、以下の様式にしたがって作成したものを持参し、大会当日に所定の場所へ展示願います。また大会終了後は、各自でお持ち帰り下さい。

【地理写真展 様式】

- ・A1(594×841mm)の台紙をタテに使用して下さい。
- ・写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です。
- ・キャプションには、内容・場所・撮影日時など、撮影時の状況を付記願います。

(作品例)

テーマ	
氏名 (所属)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	

2008 年度 研究発表大会 発表申込用紙

・発表者氏名・所属(共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい)
・発表題目:
・発表形式(↓いずれかを○でかこんで下さい) 口頭発表 ・ ポスター発表
・連絡先 氏 名: 住 所: 〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail:

2008 年度 地理写真展申込用紙

・氏名(所属)
・テーマ:
・連絡先 氏 名: 住 所: 〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail:

※申込用紙をコピーしてご利用いただくか、立正地理学会ホームページからファイルをダウンロードして下さい。

○2008年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2008年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時:2008年6月6日(金)18:00より
 2. 場所:立正大学熊谷校舎
 3. 議題:1. 2007年度事業報告の件
2. 2007年度決算報告の件
3. 2008年度事業計画案の件
4. 2008年度予算案の件
5. その他(他に議題のある評議員の方は、集会委員までお知らせ下さい。)
- 詳細については、次号ニュースにて評議員の方に同封する出欠ハガキをご確認下さい。

○第102回臨地研究会(富山)報告

2007年10月14日(日)、富山国際大学の助重雄久会員と同大学学生5名の案内により、第103回臨地研究会が富山市において行われた。テーマは「富山市における公共交通の整備とまちの再生」、参加者は17名であった。今回の臨地研究会はその行程から、大きく二つの内容で構成されていた。一つは、富山ライトレールの開通に伴う旧JR富山港線沿線地域の見学。もう一つは、富山市の中心商店街「総曲輪通り」と「中央通り」の現状と再生事業の見学である。

午前9時、富山駅北口に集合した一行は、真新しい青色のライトレールに乗り込み「東岩瀬駅」で下車した。ここでは、JR時代の旧駅舎やホームが見学施設として保存されており、バリアフリー化をはじめとする新旧交通システムの違いを観察した。その足で旧北国街道に面した岩瀬の歴史的街並みに沿って歩き、旧北前船回船問屋の「森家」を見学した。その後、常夜灯の形をした富山港展望台へ行き、遠くに富山連峰を望み、神通川河口に広がる富山港を見渡した。岸壁には荷揚げを待つ中古車・クズ鉄・廃家電などが数多く並んでいたのが印象的であった。一行は岩瀬の街並みを後に「岩瀬港駅」に向かい、赤色のライトレールで富山駅にもどった。

富山駅南口へ移動して今度は市電に乗車して「荒町駅」で下車。今年9月21日に開店したばかりの「フェリオ」内で昼食を取り、その後「総曲輪通り」と「中央通り」からなる中心商店街の現状を観察した。この10年間で中心商店街の通行量は半分、販売額は4分の3にまで落ち込んだとのこと。再生策としての「まちなか居住推進事業」や、高級化したデパート「富山大和」の新装オープンの様子を見学した。続いて訪れた中央通り東方の「いたち川」沿いでは、多くの市民が持参したペットボトルで豊富な湧水を汲み取るようすを観察。私たちは、富山市市街地が常願寺川扇状地の扇端に位置していることを改めて認識した。午後2時15分、デパート「富山大和」前で解散となった。

限られた時間で行われた臨地研究会ではあったが、富山市中心部の再生事業をつぶさに、かつ効率良く見学できた。ライトレールや市電をはじめとする都市内交通システムと、ポイントを絞り編集されていた助重会員と教え子による「エクスカッション・ガイド」のおかげである。また、戸田真夏会員からは自然地理学の視点から絶妙な説明もあった。路面

2008年3月

電車やまちなか居住の実態を観察し、話題となっている‘コンパクト・シティ’の一端に触れることができたことは貴重な経験であり、学ぶことの多い臨地研究会であった。助重会員をはじめとするご案内いただいた皆様、本当にありがとうございました。（集会委員：鈴木厚志）



写真1 JR富山駅前の富山の薬売り銅像（鈴木厚志会員撮影）



写真2 富山ライトレール岩瀬浜駅にて（鈴木厚志会員撮影）

○今年度卒業予定の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動の他、地理学教室の情報などを提供していきます。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、事務手続きの都合上、5月16日までに年会費をご納入いただければ幸いです。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(2,500円)、それ以外の方は一般会員(4,000円)となります。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

○会費納入のお願い

2007年度分会費が未納の方は、お早めにご納入下さい。過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さいますよう、よろしく願いいたします。最近、払込取扱票の払込人住所氏名の欄が未記入のものが多く見受けられます。とくに、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない払込取扱票の対応に苦慮しております。何とぞ、ご入金の際には氏名欄のご確認をお願いいたします。

(庶務会計委員会)

編集後記

富山で開催された地方例会・臨地研究会は、盛況のうちに終了しました。富山国際大学はとても自然豊かな地にあり、校内にある展望台からは立山連山や富山市街地が一望でき、すばらしい眺望を味わえました。夜も市街地の展望台より夜景を眺め、「煙と地理屋は・・・。」の通り、3度も高いところからの眺望を楽しむことができました。また、翌日の臨地研究会では念願の新交通システムのライトレールに乗車しました。その車両はデザインのみならず、乗り心地も良かったです。会員諸氏も運転席脇に立つなど、童心に戻って楽しんでおられたように感じました。会員の皆様もぜひ一度富山を訪れてみてはいかがでしょうか。

(広報委員・原 美登里)

なお、学会ニュースNo91の「編集後記」にて日本最高気温を30.9℃と表記しましたが、正しくは40.9℃です。お詫びして訂正いたします。

(広報委員会)

立正地理学会ニュース No.92

2008年3月7日発行 編集者 立正地理学会広報委員会

発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内

電話 048-539-1660 振替 00130-8-13453